

第 6 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

6 年 2 組 指 導 者 岡 崎 典 子

題 材 味 わ っ て み よ う 和 の カ タ チ

1 題 材 に つ い て

本学級の子どもたちは、前期の「墨で表す」の学習において、墨の効果をいろいろと試す中で、墨の色の違いや筆あとのよさや美しさを感じる経験をしている。また、「暮らしを編む」の学習において、編み組細工を鑑賞し、「編む」という伝統的な技法を使って、暮らしを楽しく豊かにするものをつくる学習をしている。このような子どもたちが、昔から、暮らしを楽しく豊かにするために受け継がれてきた日本の表現形式（「和のカタチ」）に触れ、形や色などの造形的な特徴を捉え、日本の美術のよさや美しさを感じ取っていく。このことは、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることにつながるであろう。

本題材は、暮らしの中にある「和のカタチ」に触れ、日本の美術のよさや美しさを感じ取る学習である。まず、自分たちが見付けた「和のカタチ」を鑑賞する。そして、自分でもつくってみたいものを選び、「和のカタチ」のよさや美しさを感じながら、表し方を工夫してつくり、つくった「和のカタチ」を仲間と鑑賞し合う。その際、子どもが、仲間と感じ方や考えを共有しながら、自分たちの暮らしの中にある「和のカタチ」の造形的な特徴を捉えられるようにしたい。そうすることで、造形的な見方・考え方を働かせるようになり、主体的に鑑賞活動に取り組むことにつながると考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化する。

- 美術作品などの鑑賞と表現とを関連させた題材構成を仕組み、つくすることで気付いた日本の美術のよさや美しさを仲間と交流する場を設定する。そうすることで、自分なりの見方や感じ方をさらに深めることができるようにする。
- 子どもの発言を、「和のカタチ」の形や色などの造形的な特徴を基に板書する。そうすることで、造形的な特徴とよさや美しさを関連付けることができるようにする。
- 「形や色などの特徴を基に感じたこと」という観点で学習を振り返るよう促す。そうすることで、自分なりの見方や感じ方を自覚することができるようにする。

2 目 標

- 「和のカタチ」の形や色などの造形的な特徴を捉え、日本の美術のよさや美しさを感じ取ることができるようにする。
- 暮らしを楽しく豊かにしている「和のカタチ」について仲間と交流しながら、自分なりの見方や感じ方で作品などを味わうことができるようにする。

3 評 価 規 準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
○「和のカタチ」を見たりつくったり実際に使ったりしながら、造形的な特徴を捉えている。	○「和のカタチ」のよさや美しさについて、感じ取ったり考えたりしている。	○「和のカタチ」の造形的な特徴に関わりながら、暮らしを楽しく豊かにしようとしている。

4 指 導 計 画 (全 6 時 間)

第 1 次 暮らしの中の「和のカタチ」を鑑賞する (2 時間) 【本時 2 / 2】

第 2 次 「和のカタチ」のよさや美しさを感じながらつくる (3 時間)

第 3 次 つくった「和のカタチ」を鑑賞し合う (1 時間)

5 本 時 案 【平成 29 年 11 月 24 日 9 : 30 ~ 10 : 15 小学校図工室】

- (1) ねらい 「和のカタチ」の造形的な特徴について話し合い、日本の美術が昔から暮らしを楽しく豊かにしていることに気付くことができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 見付けてきた「和のカタチ」を仲間分けする (10分)</p> <p>学習内容 ・「和のカタチ」の造形的な特徴(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和のカタチ」の写真を班で仲間分けするのだね。 A 私の家の掛け軸は赤富士と鶴の絵なのだけど、Bさんの掛け軸は、川に魚が泳いでいて、全く感じが違うな。 ・ Bさんの掛け軸と朝顔の扇子は夏らしいね。 ・ 「季節」で仲間分けできそうだよ。やってみよう。 ・ うさぎがかいてある扇子は紅葉の色と同じだから秋らしいね。 ・ どの季節にも当てはまらないものもあるね。何の仲間かな。 	<p>○子どもたちが見付けてきた「和のカタチ」の写真を「季節」という視点で数枚選んで提示し、分類するよう促す。そうすることで、造形的な特徴の共通点や相違点に気付くことができるようにする。</p>
<p>② 仲間分けした「和のカタチ」について話し合う (25分)</p> <p>学習内容 ・「和のカタチ」の造形的な特徴(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「和のカタチ」のよさや美しさ (思) ・ この紅葉の形や色をした和菓子は、秋を感じられるよ。 ・ 桜の掛け軸は春だね。床の間に飾るとお花見みたいだよ。 ・ この和菓子も桜色と黄緑色だから春らしいよ。 ・ 雪景色の掛け軸は冬だね。白黒の世界で寒さを感じるよ。 ・ 淡い色は暖かさ、寒色は涼しさを感じるのだと思うよ。 B この掛け軸は、寒色が使われていて、涼しさを感じさせてくれるから、私のおばあちゃんの家では夏に飾っているよ。 <p>季節に応じて「和のカタチ」を変えるのは、どうしてかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お客様に季節を感じてもらうためではないかな。 ・ お客様だけでなく、自分たちも、目で見ても楽しめるよ。 ・ 自然を形や色で表して、季節の変化を楽しむためだと思うよ。 A 赤富士と鶴の掛け軸は、私の家ではお正月になると飾るよ。 ・ お祝いの時に飾ったり使ったりする「和のカタチ」もあるね。 	<p>○子どもの発言を、造形的な特徴を基に板書する。そうすることで、造形的な特徴とよさや美しさを関連付けることができるようにする。</p> <p>○季節に応じて変えているという気付きが出た際は、その理由を問う。そうすることで、「和のカタチ」のよさと自分たちの暮らしとを関連付けて考えることができるようにする。</p>
<p>③ 学習を振り返り、次時への見通しをもつ (10分)</p> <p>学習内容 ・「和のカタチ」のよさや美しさ (思)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暮らしを楽しく豊かにしようとする態度(態) ・ 「和のカタチ」は、形や色で季節を感じられてよいね。 ・ 季節や場に応じた「和のカタチ」は、暮らしを楽しくしているのだと分かったよ。 ・ 暮らしの中で季節の変化を味わっている日本ってよいな。 A 私は、お正月以外の時に飾る掛け軸を墨でかいてみよう。 	<p>○「形や色などの特徴を基に感じたこと」という観点で学習を振り返るよう促す。そうすることで、自分なりの見方や感じ方を自覚することができるようにする。</p>

6 板書計画

